

令和元年度（希望ヶ丘高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	服務に係る諸規定等についての周知・徹底を図り、公務外非行の発生を未然に防ぐ。	啓発資料を有効に活用することで過去の事故、不祥事の事例を取り入れた研修会を実施し、職員の意識改革につなげることができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導により未然に防止する。	人権に配慮した指導の重要性を再確認した。今後も引き続き研修を重ね、体罰のない教育を推進していく。取組は十分であった。
わいせつ・セクハラ行為の防止	職員間のセクハラ、スクールセクハラ及びわいせつ行為の発生を未然に防止する。	啓発資料・新聞記事等を活用して、朝の打ち合わせや職員会議などで随時意識を喚起した。時代によりセクハラに関する価値観が変わっていることを確認した。
進路関係書類の作成及び取扱い、及び成績処理に係る事故防止	教務内規に沿った成績処理の流れを確実に実施して、間違いを防止する。	成績処理マニュアル等配付資料を基にした、成績処理の流れを確認した。 書類の発行手続き及び出願までの作業についてすべての職員が当事者意識を持って成績処理した。
私費会計事務等の適正執行	私費会計の正しい流れを確認し、私費会計に係る事故を防止する。	啓発資料を有効に活用し、職員全体でしっかり共有できた。私費会計担当教員により説明、解説を行い、教育予算の取扱いに関する事故防止意識を高めることができた。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流失を未然に防止する。 個人情報の誤廃棄を防止する。	個人情報の取扱いの重要性を理解したうえで、業務に取り組んだ。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を防止する。	入選マニュアルや点検体制を確認し整備した。事故の起こらない健全な入学者選抜に向けて職員全体で適切に取り組んだ。達成状況は十分である。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題

令和元年度の不祥事ゼロプログラムの目標は達成することができた。今後は、不祥事を防止するプログラムから人権尊重の考え方をベースにしたものとして、生徒と教職員、生徒同士、職員同士の関係の中で取り組んでいく。